

## 議案第18号

### 東広島市史跡の指定について

東広島市文化財保護条例（平成19年東広島市条例第9号）第4条第1項第5号の規定により、東広島市史跡に指定することについて、次のとおり提案する。

令和5年7月27日提出

東広島市教育委員会  
教育長 市場 一也

#### 1 提案理由

東広島市文化財保護審議会から、指定が妥当との答申を受けた物件について、東広島市史跡に指定するため、この議案を提出するものである。

#### 2 指定する文化財

種 類	東広島市史跡
名 称	二馬手塩田跡 樋の輪
員 数	1基
所在の場所	東広島市安芸津町木谷字西二馬手5686番地先道路 (上記のうち、指定面積は約120㎡)
所有者等の住所	東広島市西条栄町8番29号
所有者等	東広島市

#### 3 指定する期日

令和5年7月 日

#### 4 根拠規定

東広島市文化財保護条例

第4条 教育委員会は、次に掲げる区分に応じ、それぞれ要件を満たす文化財を東広島市文化財に指定（一略）又は選定（一略）（一略）することができる。

(1)～(4) 一略

(5) 東広島市史跡、東広島市名勝又は東広島市天然記念物（以下「市史跡名勝天然記念物」という。） 市内に存する記念物（法第109条第1項の規定により指定された史跡名勝天然記念物又は県条例第36条第1項の規定により指定された県史跡名勝天然記念物を除く。）のうち市にとって重要なもの

(6) 一略

東広島市教育委員会教育長事務委任規則（平成20年東広島市教育委員会規則第2号）

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（一略）第25条第1項の規定に基づき、東広島市教育委員会（一略）の権限に属する事務のうち、法第25条第2項各号に規定するもののほか、次の各号に掲げるものを除き、教育長に委任する。

(1)～(9) 一略一

(10) 文化財の指定又は選定及びその解除を行うこと。

(11)～(14) 一略一

## 東広島市指定調書

- 【名称】 二馬手塩田跡 樋の輪
- 【種別】 史跡
- 【員数】 1基
- 【所在地】 東広島市安芸津町木谷字西二馬手 5686 番 地先道路
- 【所有者】 東広島市
- 【指定年月日】 令和5年7月 日
- 【内容】 塩田堤防下部の樋を、外海の波浪から保護するための樋の輪  
東西約14m、南北約9m、高さ約2.7m、面積約120㎡  
平面図、断面図
- 【年代】 江戸時代
- 【解説】 木谷村の赤崎地区には、元禄期に入浜塩田が築かれ、その遺構が一部残されている。遺構を代表するものに、二馬手塩田の、樋の輪をもつ大樋（塩田内に海水を導入・排出する要の樋）がある。
- 樋の輪は、塩田堤防下部に設けられた樋を、外海の風波から守るために半円形の石積で囲み、かつ石の間から海水が自由に出入りできるように、比較的粗めに積まれた石堤である。樋そのものは、新しいものに取り替えられているが、今も排水の機能を担っている。
- 以下、その遺構の解説に入るが、その前に、木谷村の塩田の概略を紹介する。
- 本江浜の2軒（ア6反・イ6反7畝）、築調時期不明、元禄元辰年（原史料は6年辰とするが干支不合、他史料から元禄元年1688が適切）に地詰。
- 二馬手浜、1軒は元禄3年築調・正徳3年（1713）地詰（ウ7反2畝15歩）。もう1軒は元禄9年築調・宝暦10年（1760）地詰（エ9反2畝9歩、原史料9反9畝9歩とするが計算不合、訂正）。
- 宮沖浜は、文政4年（1821）に新開築調、同13年に一部に新塩浜を1軒（オ1町4反3畝）開業。
- 明治9年の地租改正では、木谷村全体で塩田6町7反2畝12歩、製塩場2反7畝3歩であった。以後、基本的に宮沖浜1軒、本江浜1軒（2軒を統合か）、二馬手浜2軒で推移し、それぞれ1軒前の塩浜は1町5反程度に拡大され、塩田廃止直前の昭和3年には3軒、4町7反8畝6

歩であった。

樋の輪が位置するのは、二馬手の海側の塩田にあたり、土地の安定化を勘案すれば、エの塩田の後進の可能性が高いと推定。

改めて樋の輪に戻る。

樋の輪は、かつて各地の塩田にみられたが、海岸の堤防改修等で多くが姿を消した。海水導入の必要がなくなり、排水用に転じながら、なおその樋を守る、いわば生きた樋の輪は、広島県生口島や愛媛県大三島・同伯方島などにいくつか残されるのみとなった。

そもそも樋の輪がいつ頃生まれ、どのように拡大したのかは、実はほとんど明らかでない。塩田の築調年を重視すれば、例えば二馬手浜は元禄期に遡るが、塩田の堤防や樋門は何度も改修を繰り返すので、古い塩田になるほど、その築調年だけでは明証を欠くことになる。

まずはその名称から検討する。製塩技術史の泰斗、廣山堯道氏は、『大日本塩業全書』などの文献や各地の塩田を実地調査され、かつて「外円（ソトマル）」の語を用いられた。しかしその後「樋の輪」に転じられた。近年では、塩田遺構の保存と活用を提唱される大成経凡氏も「樋の輪」とされ、ここでもそれに従う。

次に、この樋の輪の出現時期やその広がりについてであるが、やはり先行研究はなかなか見当たらない。そこで、国土地理院 Web サイトで閲覧できる古い空中写真（主に第 3 次塩業整備が行われた 1960 年前後まで）によって、かつての樋の輪の分布を調査したところ、備前児島など備讃瀬戸から、芸予の島々など島嶼地域に色濃く分布し、それらの塩田の多くは、開発の比較的新しい中小の塩田であることがわかった（現在では樋の輪はほとんど消滅しているが）。

近世前期までに開発された、赤穂、竹原、松永の中心部、向島の富浜など、立地条件のよい有力塩田や、近世後期に開発された三田尻新浜、坂出などの大規模な塩田には、ほとんどそれが見られないことと好対照をなす。

すなわち、樋の輪は、島嶼部など、外海から直接給・排水せざるをえない厳しい立地の、後発的な中小塩田を中心に、特にその大樋が風波に耐えられるように工夫されたもの、と推測する（系譜的には、廣山氏が指摘するように『大日本塩業全書』等に見える、堤防内に緩衝池を設ける樋に連なると思われる）。

瀬戸内の入浜塩田が、旧来の安定的な沿岸部にとどまらず、風波に直

面する島嶼やその周辺に展開した、歴史過程を示す装置ともいえよう。

これが生み出された時期は、正確には不明と言うほかないが、空中写真では、天保期から明治期にかけて開発された塩田に多くみられること、ただし 18 世紀後半に遡りそうなものもあり、ここでは、江戸後期から幕末・明治にかけて急速に普及したものと考えておきたい。一方、撫養高島（竹島）塩田や当地の二馬手塩田など、古い時期に成立した一部の塩田にもみられたが、それらは、風波の比較的強い地域に限られており、後に二次的に採用された可能性を考えておきたい。

【 所 見 】 上述のように判然としない樋の輪の成立時期であるが、二馬手塩田の樋の輪は、すでに明治 16 年作成の木谷村地籍全図に描かれており、樋の輪の誕生が明治 16 年以前であることを明確に証明する事例となる。ただ、図と較べて、現状はより直線的な堤防に半円の輪がつく形態で、明治 16 年以後、樋の取替を含めて若干の改修があった可能性があることには留意したい。

なお、同じ地図には、宮沖浜や小松原浜の樋の輪も描かれているが、宮沖浜は陸地化し、小松原のそれは、僅かに残存部が海面上に現れる状態である。

次に、他の現存例との対比を試みる。先述のように、生口島や大三島には、排水に特化しつつも生きた樋の輪がいくつか残されている。ただし、生口島の南側では、堅固な谷積みに改修されているものが 5 ヶ所程度、島の北側には、コンクリート巻きにして樋の輪の機能をもたないものが 7 例程度見られ、おしなべて後世の加工度が高い。

大三島には、国登録文化財に指定された樋の輪が 3 基残されているが、1 つは内部が埋められ機能を失っている。これらは布積み風の石積みとなっている。

倉敷市児島や玉野市山田の、野崎家関係の塩田跡地にも類似の施設が数カ所残る。樋の輪の中央に石垣を築いて階段を設け、栓樋の操作に備えるもので、芸予の事例とはやや違う形態である。いずれも樋の輪の機能は失っているようである。

以上の現存例に対して、二馬手塩田の樋の輪は、写真や断面図に見られるように、大きめの石を比較的粗く積み、より古い姿を残している可能性が高い。

以上、樋の輪の築造時期が明治 16 年以前に遡ること、樋の輪の石積みが他の現存例に較べて古い姿を止めている可能性が高いことは、文化

財として評価でき、史跡の中心的な構成要素としてとらえることができる。

なお、塩田敷地内には、塩廻しの跡や苦汁製造所跡、海水だめなどが残り、東南側には塩釜神社など関係施設もあり、天保9年の角屋（製塩業）・元屋（海運業）の寄進になる石灯籠が残る。これらもよく調査をしたうえで、もし一体的に保存できれば、塩田遺跡としてより意義深いものになるかと思われる。

当地の塩田は、文献史料から、元禄期の開発とその後の地詰（面積・石高）、生産額、十州塩浜集会への参加などが判明し、近代では、統計資料等から同浜の規模・生産額などの推移について、昭和5年の廃止までその概略を知ることができる。

遺構と史料がともに伝来し、塩田の歴史を学ぶことができる貴重な事例である。東広島市として、史跡に指定し、適切な保存・活用をはかることが望ましいと考える。

（作成者：佐竹 昭）

なお、詳細は配布の佐竹の報告書「東広島市域の入浜塩田の歴史と遺構」参照。

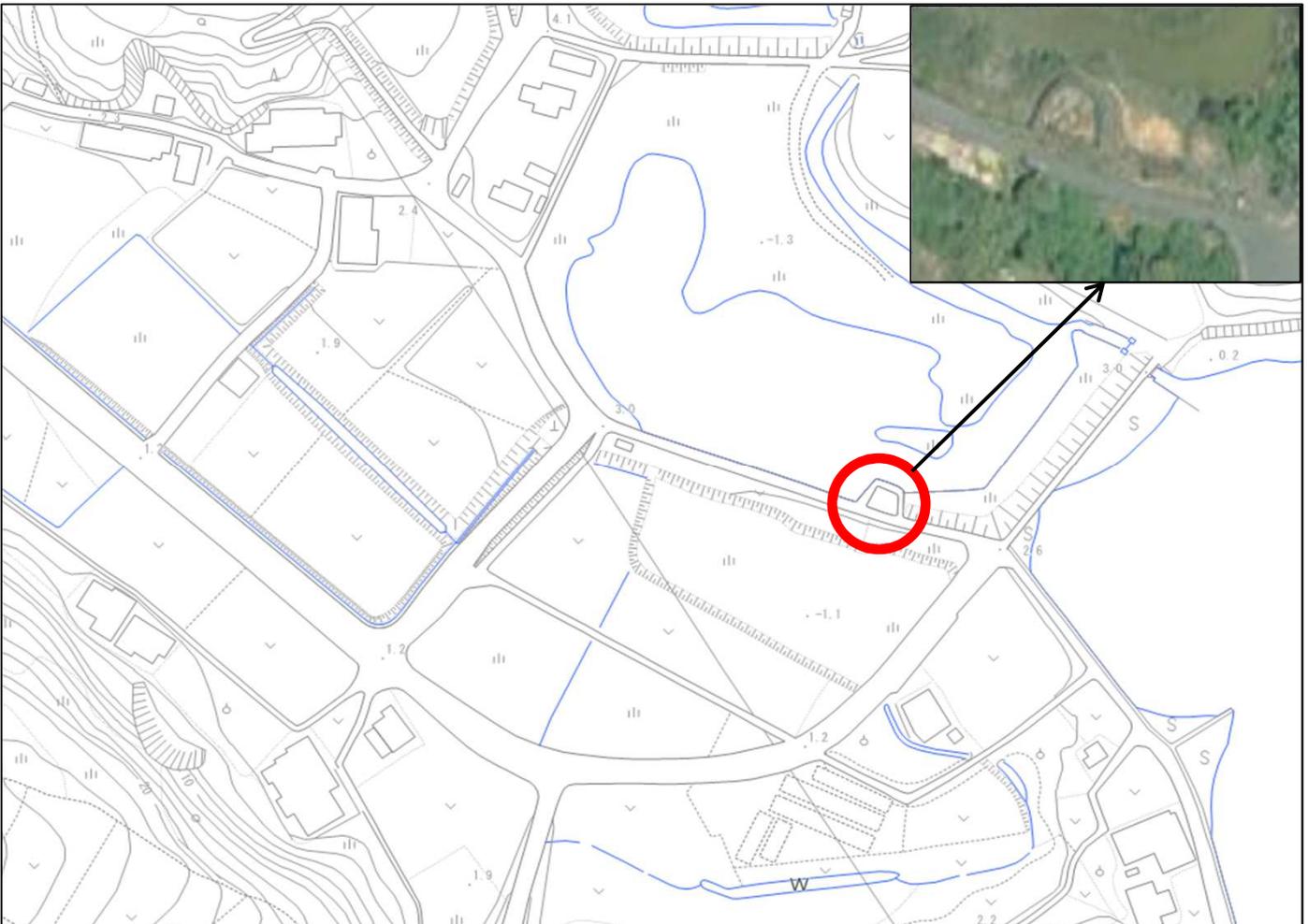
位置図、図面、写真等は別添資料参照。

名称：二馬手塩田跡 樋の輪

箇所：東広島市安芸津町木谷字西二馬手5686番 地先道路



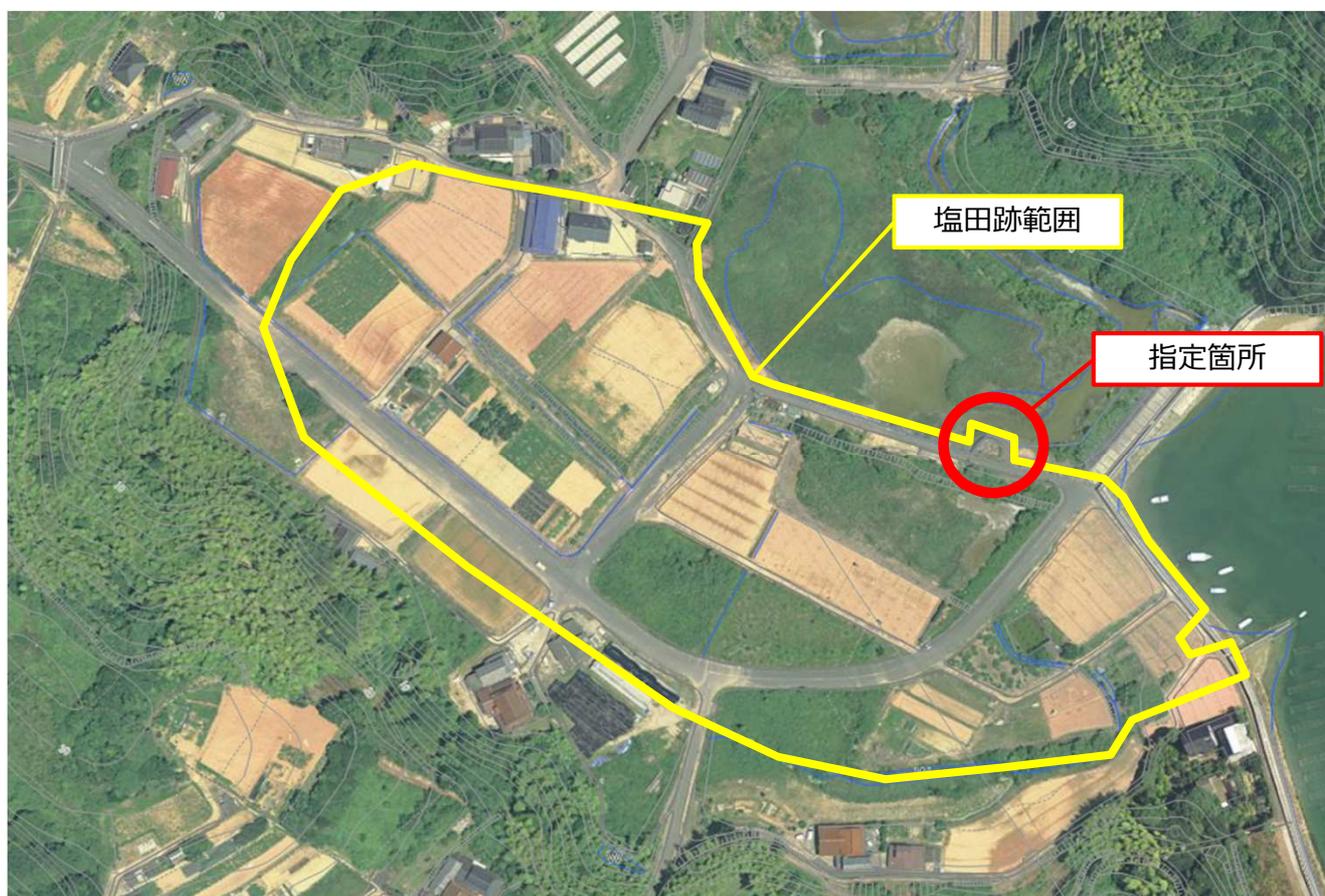
位置図-1



位置図-2



木谷村絵図（二馬手塩田跡付近：明治初期）



空中写真（二馬手塩田跡付近：令和2年）



赤枠:指定範囲

二馬手塩田跡 樋の輪（北東から）



赤枠:指定範囲

二馬手塩田跡 樋の輪（北東から）



赤枠:指定範囲

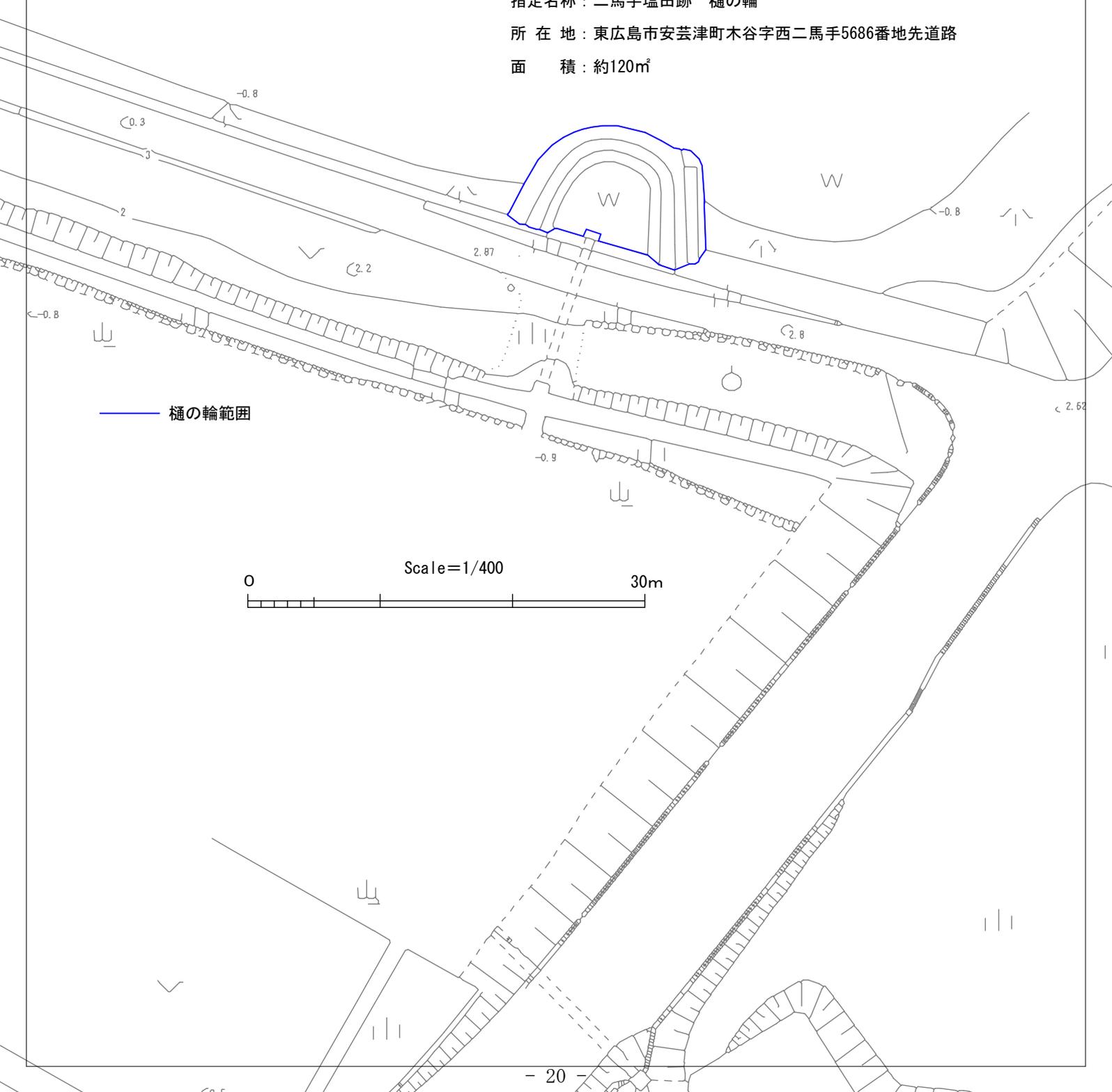
二馬手塩田跡 樋の輪（垂直写真）

# 市史跡指定範囲

指定名称：二馬手塩田跡 樋の輪

所在地：東広島市安芸津町木谷字西二馬手5686番地先道路

面積：約120m<sup>2</sup>

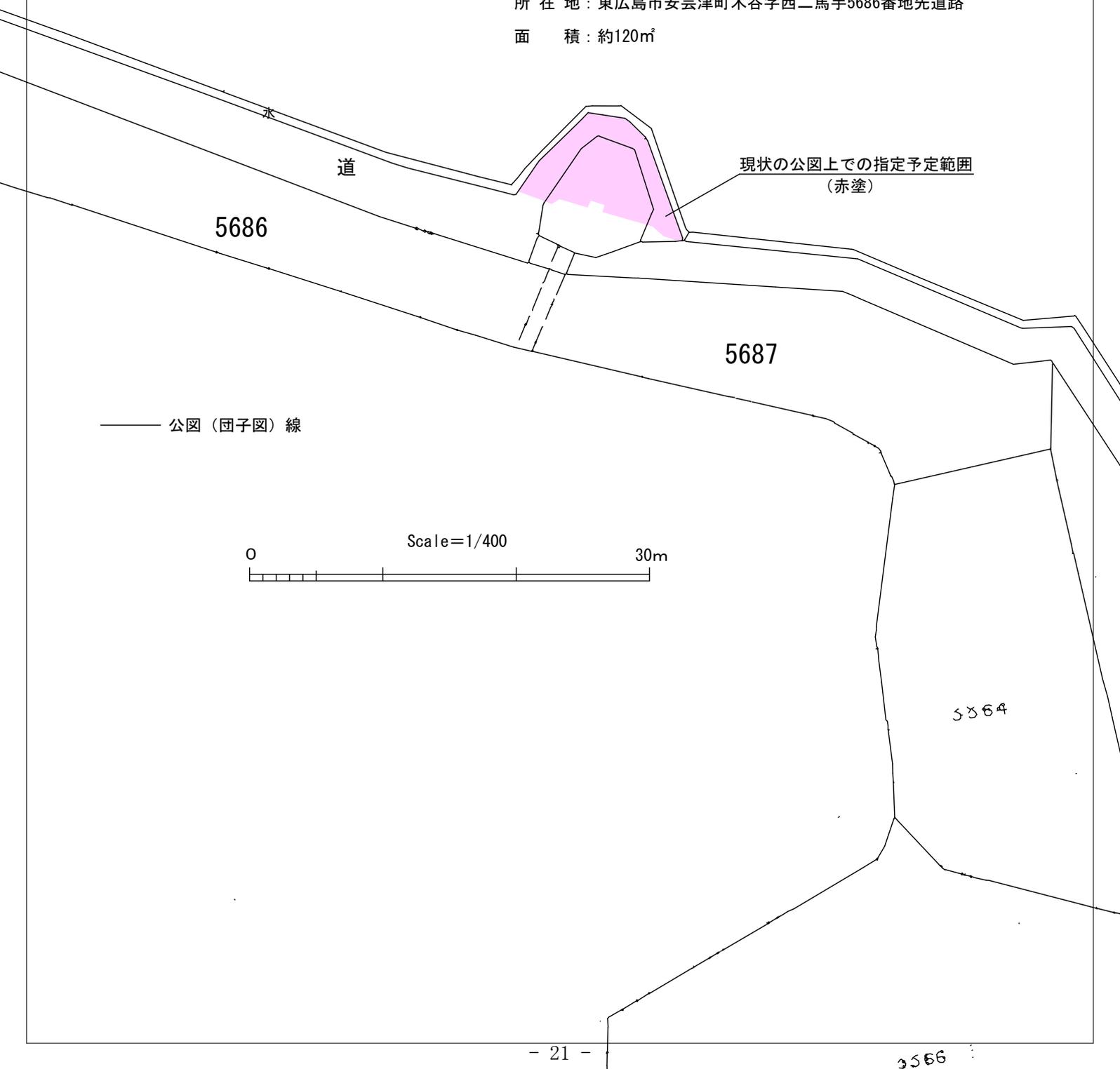


### 市史跡指定範囲

指定名称：二馬手塩田跡 樋の輪

所在地：東広島市安芸津町木谷字西二馬手5686番地先道路

面積：約120m<sup>2</sup>



令和5年6月12日

東広島市教育委員会 様

東広島市文化財保護審議会  
会長 今田幸博



東広島市文化財の新指定について（答申）

令和5年6月12日付け、東広教文第100号で諮問のこのことについては、指定することが妥当と認めます。

◎諮問物件

令和5年度 東広島市文化財新指定諮問物件

種別	名称	種類	員数	所在地等	所有者
市史跡	二馬手塩田跡 樋の輪	史跡	1基	東広島市安芸津町 木谷字西二馬手 5686番地先道路 (上記のうち、指定 面積は約120㎡)	東広島市
市重文	福成寺仁王門 附、上葺棟札1枚、紀年 銘板1枚	建造物	1棟 棟札1枚 板1枚	東広島市西条町 下三永字福成寺 10713番3	宗教法人 福成寺

# 東広島市の指定文化財

(令和5年7月27日現在)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
1	特別天然記念物	オオサンショウウオ	地域を限らず(市内全域)	1952(昭27). 3. 29
2	史跡	安芸国分寺跡	西条町吉行	1936(昭11). 9. 3
3	史跡	三ツ城古墳	西条中央七丁目	1982(昭57). 6. 3
4	史跡	鏡山城跡	鏡山二丁目	1998(平10). 1. 14
5	重文	旧木原家住宅	高屋町白市	1966(昭41). 6. 11
6	重文	竹林寺本堂	河内町入野(竹林寺)	1982(昭57). 6. 11
7	重文	福成寺本堂内厨子及び須弥壇	西条町下三永(福成寺)	2000(平12). 12. 4
8	重文	広島県安芸国分寺跡土坑出土品	河内町中河内(出土文化財管理センター)	2023(令5). 6. 27
9	県史跡	野坂完山の墓	西条中央八丁目	1954(昭29). 1. 26
10	県史跡	平賀氏の遺跡 平賀氏の墓地 御藪宇城跡 白山城跡 頭崎城跡	高屋町高屋堀 高屋町高屋堀 高屋町白市 高屋町貞重	1969(昭44). 4. 28
11	県重文	銅鐘	西条町下三永(福成寺)	1953(昭28). 6. 23
12	県重文	僧行賢関係遺品	高屋町稲木・中島(西品寺他)	1956(昭31). 3. 30
13	県重文	紙本著色竹林寺縁起絵巻	河内町入野(竹林寺)	1956(昭31). 3. 30
14	県重文	木造地藏菩薩半跏像	河内町入野(竹林寺)	1963(昭38). 11. 4
15	県重文	知新集	鏡山一丁目(広島大学)	1966(昭41). 4. 28
16	県重文	紙本墨書大般若経	豊栄町乃美(本宮八幡神社)	1967(昭42). 5. 8
17	県重文	木造釈迦如来坐像	安芸津町三津	1978(昭53). 1. 31
18	県重文	福成寺文書	西条町下三永(福成寺)	1978(昭53). 10. 4
19	県重文	金銅唐草文板蓮華文金具置戒体箱	西条町下三永(福成寺)	1984(昭59). 11. 19
20	県重文	金銅輪宝羯磨文置説相箱	西条町下三永(福成寺)	1984(昭59). 11. 19
21	県重文	木造薬師如来坐像	西条町吉行(國分寺)	1985(昭60). 3. 14
22	県重文	木造薬師如来坐像	西条町寺家(長福寺)	1985(昭60). 3. 14
23	県重文	白鳥古墳出土品	西条中央七丁目(中央図書館内 三ツ城古墳ガイドダンスコーナー)	1987(昭62). 12. 21
24	県重文	観現寺厨子	西条町御藪宇(観現寺)	1992(平 4). 10. 29
25	県重文	紙本墨書大般若経	志和町志和堀(大宮神社)	1997(平 9). 5. 19
26	県天然記念物	竹仁のシャクナゲ群落	福富町上竹仁地区	1951(昭26). 4. 6
27	県天然記念物	鶴亀山の社叢	河内町入野(布多都宮八幡神社・巖島神社)	1955(昭30). 9. 28
28	県天然記念物	福成寺の巨樹群	西条町下三永(福成寺)	1982(昭57). 10. 14
29	県天然記念物	祝詞山八幡神社のコバンモチ群落	安芸津町風早(祝詞山八幡神社)	1984(昭59). 11. 19
30	県天然記念物	本宮八幡神社の社叢	豊栄町乃美(本宮八幡神社)	1987(昭62). 12. 21
31	県天然記念物	畝山神社の巨樹群	豊栄町清武(畝山神社)	1987(昭62). 12. 21
32	県無形民俗文化財	神楽～五行祭～	豊栄町	1969(昭44). 4. 28
33	市史跡	保田古墳群	黒瀬町小多田	1973(昭48). 11. 3
34	市史跡	仙人塚古墳	高屋町郷	1978(昭53). 11. 15
35	市史跡	白鳥神社	高屋町郷(白鳥神社)	1978(昭53). 11. 15
36	市史跡	生城山城跡	志和町志和東	1978(昭53). 11. 15
37	市史跡	槌山城跡	八本松町吉川・原	1978(昭53). 11. 15
38	市史跡	宝篋印塔	西条町御藪宇(観現寺)	1978(昭53). 11. 15
39	市史跡	藤原春鶴の碑	西条町上三永(築地神社)	1978(昭53). 11. 15
40	市史跡	小谷焼窯跡	高屋町小谷	1978(昭53). 11. 15
41	市史跡	岩幕山古墳	黒瀬町宗近柳国	1980(昭55). 11. 3
42	市史跡	西条柿伝承地	西条町寺家(長福寺)	1982(昭57). 5. 22
43	市史跡	塔ノ岡古墳	豊栄町安宿	1983(昭58). 1. 6
44	市史跡	宮ヶ迫古墳	豊栄町乃美	1983(昭58). 1. 6
45	市史跡	山王古墳群のうち1～3・7号古墳	豊栄町鍛冶屋	2002(平14). 2. 15
46	市史跡	西本6号遺跡	高屋町大島	2005(平17). 5. 2
47	市史跡	二馬手塩田 樋の輪	安芸津町木谷	予定
48	市重文	写本紙本著色竹林寺縁起絵巻	河内町入野(竹林寺)	1972(昭47). 11. 16
49	市重文	木造薬師如来坐像及び木造十二神将像	河内町戸野	1972(昭47). 11. 16
50	市重文	内島曉園襖絵	黒瀬町檜原(西福寺)	1973(昭48). 11. 3
51	市重文	祝詞山八幡神社棟札	安芸津町風早(祝詞山八幡神社)	1978(昭53). 2. 13
52	市重文	唐絵涅槃像	志和町志和東(並滝寺)	1978(昭53). 11. 15
53	市重文	薬師如来坐像	西条町吉行(國分寺)	1978(昭53). 11. 15

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
54	市重文	懸佛	志和町志和堀(大宮神社)	1978(昭53). 11. 15
55	市重文	八王子観音菩薩立像	高屋町高屋堀(円満寺)	1978(昭53). 11. 15
56	市重文	銅鐘	志和町志和堀(市中神社)	1978(昭53). 11. 15
57	市重文	木彫十二神将立像	西条町寺家(長福寺)	1982(昭57). 5. 22
58	市重文	木彫延命地藏菩薩半跏像	志和町志和東(並瀧寺)	1982(昭57). 5. 22
59	市重文	慶長の檢地帳	西条町下見(明顕寺) 高屋町重兼	1982(昭57). 5. 22 1982(昭57). 5. 22
60	市重文	竹林寺仏堂	河内町入野(竹林寺)	1988(昭63). 7. 7
61	市重文	竹林寺縁起絵軸	河内町入野(竹林寺)	1988(昭63). 7. 7
62	市重文	竹林寺龍虎の間襖絵	河内町入野(竹林寺)	1988(昭63). 7. 7
63	市重文	竹林寺石造物	河内町入野(竹林寺)	1988(昭63). 7. 7
64	市重文	杣木の石造地藏菩薩立像	河内町入野	1988(昭63). 7. 7
65	市重文	真光寺宝篋印塔	河内町小田	1988(昭63). 7. 7
66	市重文	小田八幡神社板碑	河内町小田(小田八幡神社)	1988(昭63). 7. 7
67	市重文	新宮神社本殿	西条町寺家(新宮神社)	1991(平 3). 6. 18
68	市重文	旧石井家住宅	西条町下見	1993(平 5). 3. 19
69	市重文	銅鐘	西条中央三丁目(慶徳寺)	1996(平 8). 6. 19
70	市重文	竹林寺仁王門の金剛力士像	河内町入野(竹林寺)	1996(平 8). 10. 1
71	市重文	本宮八幡神社社殿	豊栄町乃美(本宮八幡神社)	1996(平 8). 10. 18
72	市重文	三島神社奉納俳諧額	黒瀬町菅田(三島神社)	1997(平 9). 2. 27
73	市重文	樋之上八幡神社の棟札・絵馬	黒瀬町津江(樋之上八幡神社)	1997(平 9). 2. 27
74	市重文	慶雲寺観音堂厨子	黒瀬町南方(慶雲寺)	1997(平 9). 2. 27
75	市重文	五部大乘経	志和町志和堀(大宮神社)	1998(平10). 3. 17
76	市重文	大宮神社宮蔵	志和町志和堀(大宮神社)	1998(平10). 3. 17
77	市重文	國分寺護摩堂	西条町吉行(國分寺)	1999(平11). 2. 18
78	市重文	國分寺仁王門	西条町吉行(國分寺)	1999(平11). 2. 18
79	市重文	土井家作帳	河内町中河内(出土文化財管理センター)	2001(平13). 2. 27
80	市重文	樋之上八幡神社の懸仏	黒瀬町津江(樋之上八幡神社)	2001(平13). 6. 28
81	市重文	大多田八幡神社の懸仏	黒瀬町大多田(大多田八幡神社)	2001(平13). 6. 28
82	市重文	門前神社の懸仏	黒瀬町乃美尾(門前神社)	2001(平13). 6. 28
83	市重文	西本6号遺跡出土品	河内町中河内(出土文化財管理センター)	2005(平17). 5. 2
84	市重文	線刻十一面観音鏡像	高屋町杵原(正原薬師堂)	2014(平26). 4. 17
85	市重文	横田1号遺跡出土品	河内町中河内(出土文化財管理センター)	2015(平27). 4. 16
86	市重文	木造獅子狛犬	志和町奥屋(二宮神社)	2015(平27). 4. 16
87	市重文	頭崎神社本殿	高屋町貞重(頭崎神社)	2016(平28). 4. 21
88	市重文	大槨3号遺跡出土品	河内町中河内(出土文化財管理センター)	2016(平28). 4. 21
89	市重文	赤瓦製祠	西条町下三永	2017(平29). 4. 27
90	市重文	並瀧寺本堂	志和町志和東(並瀧寺)	2017(平29). 9. 28
91	市重文	並瀧寺庫裏	志和町志和東(並瀧寺)	2017(平29). 9. 28
92	市重文	三浦仙三郎酒造関係資料	安芸津町三津(安芸津歴史民俗資料館ほか)	2019(平31). 4. 25
93	市重文	伝丁田南古墳群出土須恵器(台付環状瓶)	鏡山一丁目(広島大学)	2019(平31). 4. 25
94	市重文	福成寺仁王門	西条町下三永	予定
95	市天然記念物	蓮教寺のアスナロ	豊栄町清武(蓮教寺)	1975(昭50). 3. 1
96	市天然記念物	ちしゃのき	安芸津町三津(多那都神社)	1977(昭52). 4. 7
97	市天然記念物	三大妙見神社の社叢	安芸津町風早(三大妙見神社)	1982(昭57). 6. 28
98	市天然記念物	大芝の褶曲した地層	安芸津町風早	1984(昭59). 6. 1
99	市天然記念物	中原神社のケヤキ	志和町志和東(中原神社)	1986(昭61). 3. 15
100	市天然記念物	二宮神社のクスノキ	志和町別府(二宮神社)	1986(昭61). 3. 15
101	市天然記念物	小倉神社のタブノキ	八本松町原(小倉神社)	1986(昭61). 3. 15
102	市天然記念物	アキササンショウウオ	東広島市一円	1986(昭61). 11. 5
103	市天然記念物	三永のサルスベリ	西条町下三永	1998(平10). 3. 17
104	市天然記念物	蓮光寺の大イチョウ	安芸津町三津(蓮光寺)	2001(平13). 3. 26
105	市天然記念物	苦ノ辻中生代魚類化石産出層	豊栄町吉原	2000(平12). 8. 30
106	市天然記念物	中黒瀬のセンダン	黒瀬町丸山	2022(令4). 4. 28
107	市重要無形民俗文化財	小田神楽	河内町小田	1974(昭49). 12. 1
108	市重要無形民俗文化財	宇山民謡	河内町宇山	1975(昭50). 2. 1
109	市重要無形民俗文化財	三津祇園祭り	安芸津町三津	1990(平 2). 11. 25
110	市重要無形民俗文化財	祝詞山八幡神社大祭の神賑行列	安芸津町風早	1990(平 2). 11. 25